

千葉大学 ノートテイク会

ノートテイク利用者の減少→ノートテイク会にとって良い/悪い？

現在、登録支援学生35名、コーディネーター1名
利用学生1名、授業1コマ/週、ノートテイク2名/週
※週1コマだと自分の講義がある学生は担当できない。

- ・ノートテイクの意志があるのに実践できない！
- ・ノートテイク技術の維持・向上が困難
- ・支援学生のモチベーション低下

どんな大学にも
起こりうる問題

利用者が少なくても活動を活発にする工夫が必要

新たな取り組みの実現

各種研修会

パソコン要約筆記研修会

- プロの要約筆記員を講師
- IPtalkによるパソコンテイク
- ・多くの支援学生が自主的に参加
- ・IPtalkの機能をマスター
- ・連携入力の体得→情報保障率アップ！

タイピング大会

- ゲーム感覚のイベントでタイピング技術向上
- 手書きノートテイク研修
- 授業によっては手書きノートテイクが重要！

パソコン要約筆記

- ・各種講演会（学内&学外）
- ・FD研修
- ・入学式・卒業式

一般参加者のための情報保障
ノートテイク会の広報



ノートテイク会の存続 技術の維持・向上



模擬ノートテイク

実践的な技術の獲得

- 利用学生のない授業で実際にノートテイク
二人で交代しながら実施
（一人はノートテイク、一人は評価担当）

評価

- 専用の評価シートを使用
- 自己評価、他者評価
- 定期的に反省会の開催



広報・啓発活動

- (1) 支援学生の確保
- (2) 学内での知名度アップ

- ・リーフレットの作成→新入生に配布
- ・ガイダンス等での広報
- ・学内教職員FD研修（ノートテイク会が講師）
「聴覚障害学生がいたら、どうしますか？」
聴覚障害やノートテイクに関する講義



ノートテイク会が目指すもの

ノートテイク会の活動維持

利用者の人数は毎年変動→人数が増えたときにも対応可能な体制

さまざまな情報保障手法

授業内容に応じて、手書きノートテイク、PCノートテイクで柔軟に対応
情報保障率の向上

情報保障率を上げるため、研修会、練習会などの実施

（現状：手書きで2～3割、パソコンでも5割程度）

常に万全の状態でノートテイクができるよう

ノートテイク会の存続、技術の向上に努めていきます！

問い合わせ先

千葉大学ノートテイク会 (info@ntkai.skr.jp)

代表：久保理恵、副代表：平出晏莉

